

none



• PATENTS • DESIGNS •  
The Patent Office  
• CPOPOPC PTO •  
• COPYRIGHT • TRADEMARKS •

none



PN - JP2002057977 A 20020222

PD - 2002-02-22

PR - JP20000239709 20000808

OPD - 2000-08-08

TI - MOVING PICTURE GENERATOR AND COMPUTER-READABLE RECORDING MEDIUM FOR RECORDING MOVING PICTURE GENERATING PROGRAM

IN - UCHIDA HIROSHI

PA - MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

IC - H04N5/91 ; G06T13/00 ; H04N5/262 ; H04N5/92

© WPI / DERWENT

TI - Moving image formation device for CRT display liquid crystal display plasma display generates moving image data by combining data stored in both still picture image file and character file

PR - JP20000239709 20000808

PN - JP2002057977 A 20020222 DW200234 H04N5/91 012pp

PA - (MATU) MATSUSHITA DENKI SANGYO KK

IC - G06T13/00 ; H04N5/262 ; H04N5/91 ; H04N5/92

AB - JP2002057977 NOVELTY - A memory (1) stores an image file (11) comprising still picture image data and a character file (12) that stores character code as character data. A moving image formation unit (2) generates moving image data by combining the data acquired from both still picture image and character files respectively.

- DETAILED DESCRIPTION - INDEPENDENT CLAIMS are also included for the following:

- (a) Moving image generator;
- (b) Disk storing program for controlling moving image formation
- USE - For CRT display, liquid crystal display, plasma display, LED display panel. For developing multimedia techniques.

- ADVANTAGE - Simplifies editing of moving image data. Data is exchanged effectively through a network as the amount of required still picture and character data is reduced.

- DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the block diagram of the moving image formation section. (Drawing includes non-English language text).

- memory 1

- Moving image formation unit2

- Image file 11

none

none

none

none



Character file 12

- (Dwg.2/7)

OPD - 2000-08-08

AN - 2002-299871 [34]

• PATENTS • DESIGNS  
• TRADE MARKS •  
The Patent Office  
• COPYRIGHT •

none



INVESTOR IN PEOPLE

© PAJ / JPO

PN - JP2002057977 A 20020222

PD - 2002-02-22

AP - JP20000239709 20000808

IN - UCHIDA HIROSHI

PA - MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

TI - MOVING PICTURE GENERATOR AND COMPUTER-READABLE  
RECORDING MEDIUM FOR RECORDING MOVING PICTURE  
GENERATING PROGRAMAB - PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a moving picture generator  
that can efficiently generate moving picture data by data whose  
generation and edit are facilitated.- SOLUTION: A moving picture generating section2 acquires a still  
picture file 11 and a character file 12 stored in a storage device 1,  
allows a data interpreter section 21 to interpret the files, a file name  
decomposition section 22 decomposes the interpreted file name  
into parameters as attribute data, an operation interpretation  
section 23 interprets operation contents with respect to respective  
still picture data and character data on the basis of each  
decomposed parameter, and a moving picture assembling section  
24 applies processing to operation contents of the respective still  
picture data and character data to generate moving picture data.

I - H04N5/91 ;G06T13/00 ;H04N5/262 ;H04N5/92

none

none

none

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-57977

(P2002-57977A)

(43)公開日 平成14年2月22日 (2002.2.22)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	データコード(参考)
H 04 N 5/91		G 06 T 13/00	A 5 B 0 5 0
G 06 T 13/00		H 04 N 5/262	5 C 0 2 3
H 04 N 5/262		5/91	N 5 C 0 5 3
5/92		5/92	H

審査請求 未請求 請求項の数6 OL (全12頁)

(21)出願番号 特願2000-239709(P2000-239709)

(22)出願日 平成12年8月8日(2000.8.8)

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 内田 浩

鹿児島県日置郡伊集院町大字惣重字前田平  
1786番地の6 鹿児島松下電子株式会社内

(74)代理人 100097445

弁理士 岩橋 文雄 (外2名)

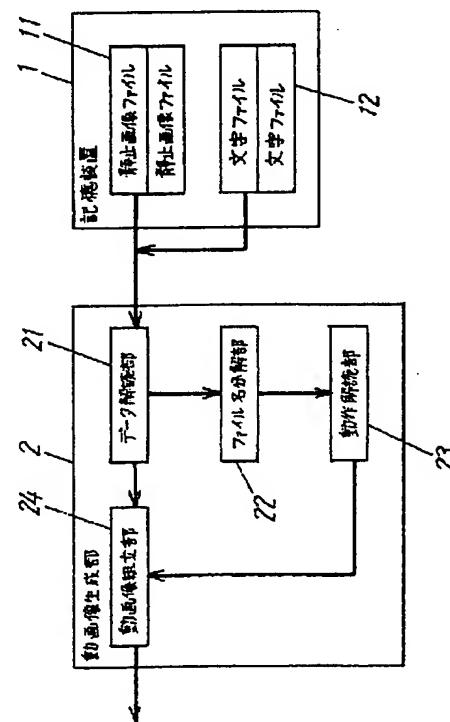
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 動画像生成装置および動画像生成プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

(57)【要約】

【課題】 作成や編集が容易なデータによって効率よく動画像データを生成することが可能な動画像生成装置の提供。

【解決手段】 動画像生成部2は、記憶装置1に記憶された静止画像ファイル11および文字ファイル12を取得し、データ解読部21により解読し、解読されたファイル名をファイル名分解部22により各属性データとしてのパラメータに分解し、分解された各パラメータに基づいて動作解読部23により静止画像ファイル11や文字ファイル12それぞれの静止画像データや文字データに対する動作内容を解読し、動画像組立部24によりそれぞれの静止画像データや文字データに対して動作内容の処理を行い動画像データを生成する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像データとして静止画像データのみを含む静止画像ファイルと文字データとして文字コードのみを含む文字ファイルとのいずれかまたは両方を記憶する記憶手段と、同記憶手段より取得した前記静止画像ファイルの静止画像データおよび文字ファイルの文字データのいずれかまたは両方を組み合わせることにより動画像データを生成する動画像生成手段と、を備えた動画像生成装置。

【請求項2】 前記静止画像ファイルおよび文字ファイルは、表示順序を示す第1の属性データおよび表示方法を示す第2の属性データを含み、前記動画像生成手段は、前記第1の属性データに基づいて前記静止画像データおよび文字データを順序づけ、前記第2の属性データに基づいて前記静止画像データおよび文字データを処理するものであることを特徴とする請求項1記載の動画像生成装置。

【請求項3】 前記第1および第2の属性データは、前記静止画像ファイルおよび文字ファイルを識別するファイル名として含まれることを特徴とする請求項2記載の動画像生成装置。

【請求項4】 画像データとして静止画像データのみを含む静止画像ファイルと文字データとして文字コードのみを含む文字ファイルとのいずれかまたは両方からそれぞれ取得した静止画像データおよび文字データを組み合わせることにより動画像データを生成する動画像生成手段としてコンピュータを機能させる動画像生成プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項5】 前記静止画像ファイルおよび文字ファイルは、表示順序を示す第1の属性データおよび表示方法を示す第2の属性データを含み、前記動画像生成手段は、前記第1の属性データに基づいて前記静止画像データおよび文字データを順序づけ、前記第2の属性データに基づいて前記静止画像データおよび文字データを処理するものであることを特徴とする請求項4記載の動画像生成プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項6】 前記第1および第2の属性データは、前記静止画像ファイルおよび文字ファイルを識別するファイル名として含まれることを特徴とする請求項5記載の動画像生成プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、C.R.T.、T.V.、液晶、プラズマやLCDパネル等の表示機に表示させるための動画像を生成する動画像生成装置および動画像生成プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関する。

## 【0002】

【従来の技術】近年、高性能な中央演算処理装置（以下、「CPU」と称す）の開発や、このCPU等のコンピュータシステムの各種資源を管理し、アプリケーションがこれを利用できるようにする基本ソフトウェアであるオペレーティングシステム（以下、「OS」と称す）の開発によって、動画像の表示などのマルチメディア技術が発展してきている。このマルチメディア技術によって取り扱われるデータは、主にAVIファイル形式やMPEGファイル形式等の標準フォーマットによって記述される。

【0003】AVIファイルとはマイクロソフト社のMicrosoft Video for Windowsで用いられるマルチメディアファイルの1つであり、オーディオ・ビデオ（動画像）・静止画像等のデータを含むものである。MPEGファイルも同様に、標準化されたデジタル圧縮技術により圧縮されたマルチメディアファイルである。

【0004】AVIファイルやMPEGファイルといった動画像データを含むファイル（本明細書中、「動画像ファイル」と称す）は、データ量が多くなるため専用のプログラム（コーデック）によって圧縮されており、OS上で表示および再生させるためには専用の伸張コードが必要になる。

【0005】図7は従来の画像表示装置の構成を示すブロック図である。

【0006】図7において、記憶装置52には表示機51へ画像を表示するための元となる画像データがMPEGファイル53として記憶されている。MPEGファイル53は、動画像解読部54に読み込まれ、解読（デコード）されて、ビデオメモリ55へ転送される。表示機51は、ビデオメモリ55の内容を各ドットの色データとして点灯し、動画像として表示する。

## 【0007】

【発明が解決しようとする課題】ここで用いられるMPEGファイル53等の動画像ファイルを作成するためには、それぞれの形式に応じた特別なアルゴリズムによる専用のソフトウェア（ノンリニア編集ソフトウェア等）や特別なハードウェア（キャプチャーボード等）を使用しなければならない。さらに、これらのソフトウェアやハードウェアを操作する技術を取得する必要があり、標準的なOS環境ではMPEGファイル53等の動画像ファイルを作成することは困難である。

【0008】また、このようにして作成した動画像ファイルの一部分を変更したい場合、動画像ファイル作成と同じシーケンスを再度実行し、動画像ファイルのすべてを作成しなおす必要がある。これは、ネットワークにより接続された遠方環境においてこの動画像ファイルを利用するシステムの場合、大容量の動画像ファイルをすべて転送することになり効率的でない。

【0009】そこで、本発明においては、作成や編集が

容易なデータによって効率よく動画像データを生成することが可能な動画像生成装置および動画像生成プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供する。

## 【0010】

【課題を解決するための手段】本発明は、画像データとして静止画像データのみを含む静止画像ファイルと文字データとして文字コードのみを含む文字ファイルとのいずれかまたは両方からそれぞれ取得した静止画像データおよび文字データを組み合わせることにより動画像データを生成するように構成したものである。

【0011】これにより、作成や編集が容易な静止画像ファイルや文字ファイルによって動画像データを生成することが可能となる。また、動画像データの一部分を変更する場合には相当する静止画像ファイルや文字ファイルを変更するだけでも、動画像データの編集作業を簡素化することが可能となる。

## 【0012】

【発明の実施の形態】請求項1に記載の発明は、画像データとして静止画像データのみを含む静止画像ファイルと文字データとして文字コードのみを含む文字ファイルとのいずれかまたは両方を記憶する記憶手段と、同記憶手段より取得した前記静止画像ファイルの静止画像データおよび文字ファイルの文字データのいずれかまたは両方を組み合わせることにより動画像データを生成する動画像生成手段と、を備えた動画像生成装置としたものであり、作成や編集が容易な静止画像ファイルや文字ファイルによって動画像データを作成することが可能となる。

【0013】請求項2に記載の発明は、前記静止画像ファイルおよび文字ファイルは、表示順序を示す第1の属性データおよび表示方法を示す第2の属性データを含み、前記動画像生成手段は、前記第1の属性データに基づいて前記静止画像データおよび文字データを順序づけ、前記第2の属性データに基づいて前記静止画像データおよび文字データを処理することであることを特徴とする請求項1記載の動画像生成装置としたものであり、動画像データの作成の際、その元となる静止画像ファイルや文字ファイルの表示順序および表示方法を自由に設定することが可能となる。

【0014】請求項3に記載の発明は、前記第1および第2の属性データは、前記静止画像ファイルおよび文字ファイルを識別するファイル名として含まれることを特徴とする請求項2記載の動画像生成装置としたものであり、動画像データの元となる静止画像ファイルや文字ファイルの表示順序および表示方法の設定を、それぞれのファイル名の簡単な修正によって変更することが可能となる。

【0015】請求項4に記載の発明は、画像データとして静止画像データのみを含む静止画像ファイルと文字デ

ータとして文字コードのみを含む文字ファイルとのいずれかまたは両方からそれぞれ取得した静止画像データおよび文字データを組み合わせることにより動画像データを生成する動画像生成手段としてコンピュータを機能させる動画像生成プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体としたものであり、このようなソフトウェアのプログラムコードを記録した記録媒体をシステムあるいは装置に供給し、そのシステムあるいは装置のコンピュータ（またはCPUやMPU等）が記録媒体に記録されたプログラムコードを読み出し実行することによって、請求項1に記載の発明と同様の作用を得ることができる。

【0016】請求項5に記載の発明は、前記静止画像ファイルおよび文字ファイルは、表示順序を示す第1の属性データおよび表示方法を示す第2の属性データを含み、前記動画像生成手段は、前記第1の属性データに基づいて前記静止画像データおよび文字データを順序づけ、前記第2の属性データに基づいて前記静止画像データおよび文字データを処理することであることを特徴とする請求項4記載の動画像生成プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体としたものであり、前述と同様、請求項2に記載の発明と同様の作用を得ることができる。

【0017】請求項6に記載の発明は、前記第1および第2の属性データは、前記静止画像ファイルおよび文字ファイルを識別するファイル名として含まれることを特徴とする請求項5記載の動画像生成プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体としたものであり、前述と同様、請求項3に記載の発明と同様の作用を得ることができる。

【0018】以下、本発明の実施の形態について、図1から図6を用いて説明する。

【0019】（実施の形態）図1は本発明の実施の形態における画像表示装置の構成を示すブロック図である。

【0020】図1に示すように、本発明の実施の形態における画像表示装置は、動画像生成の元となる静止画像ファイル11や文字ファイル12を記憶する記憶手段として機能する記憶装置1と、記憶装置1より取得した静止画像ファイル11や文字ファイル12を組み合わせることにより動画像データを生成する動画像生成手段として機能する動画像生成部2と、動画像生成部2により生成した動画像データを一時記憶するビデオメモリ3と、ビデオメモリ3の内容を各ドットの色データとして点灯することにより動画像を表示する表示機4とを備える。

【0021】静止画像ファイル11は、例えば、BMP（ビットマップ）ファイルやJPEGファイル等の標準グラフィック形式のものであって、画像データとして静止画像データのみを含むバイナリファイルである。ここで、画像データとして静止画像データのみを含むとは、静止画像ファイル11に含まれるバイナリデータのうち

の画像データを示す部分が動画像データを含まず、静止画像データのみで構成されることを指す。また、この静止画像ファイル11は、標準的なOS環境において動作する静止画像形成ソフトウェアにより作成や編集が容易なものである。

【0022】文字ファイル12は、文字データとして文字コード（キャラクタコード）のみを含む標準文字形式のテキストファイルである。ここで、文字データとして文字コードのみを含むとは、文字ファイル12に含まれる制御コードや文字データ等のデータのうちの文字データを示す部分がASCIIコード等の文字コードのみで構成されることを指す。この文字ファイル12は、コンピュータのキーボード等によって入力することにより作成や編集が容易なものである。

【0023】これらの静止画像ファイル11および文字ファイル12は、一つの動画像データを生成するための元となるため、特定のフォルダにまとめられて記憶装置1に記憶されている。なお、図中、静止画像ファイル11および文字ファイル12をそれぞれ2つずつ示しているが、これらの個数はそれぞれいくつであってもよい。

【0024】記憶装置1に記憶されている静止画像ファイル11および文字ファイル12は、動画像生成部2に読み込まれ、そこで生成された動画像データがビデオメモリ3によって展開されて表示機4に転送される。表示機4は、ビデオメモリ3の内容を各ドットの色データとして点灯し、動画像として表示する。

【0025】図2は図1の動画像生成部2の詳細な構成を示すブロック図である。

【0026】図2に示すように、動画像生成部2は、記憶装置1より取得した静止画像ファイル11や文字ファイル12に含まれるデータを解読する手段としてのデータ解読部21と、データ解読部21により解読されたファイル名を各属性データとしてのパラメータに分解する手段としてのファイル名分解部22と、ファイル名分解部22により分解された各パラメータに基づいて静止画像ファイル11や文字ファイル12それぞれの静止画像データや文字データに対する動作内容を解読する手段としての動作解読部23と、静止画像ファイル11や文字ファイル12それぞれの静止画像データや文字データに対して動作解読部23により解読した動作内容の処理を行い動画像を組み立てる手段としての動画像組立部24とにより構成される。

【0027】データ解読部21は、記憶装置1より取得したファイルの識別を行い、静止画像ファイル11であればこれに含まれる静止画像データの各要素を解読して保持し、文字ファイル12であればこれに含まれる文字データの各要素を解読して保持する。ここで、静止画像ファイル11や文字ファイル12のファイル名はファイル名分解部22へと送られる。

【0028】図3は図2のファイル名分解部22の詳細

な構成を示すブロック図である。

【0029】静止画像ファイル11や文字ファイル12にはそれぞれのファイルを識別する図3に示すファイル名が付与されている。ファイル名は、表示順序を示すシーケンス番号と、データ名称と、それぞれ表示方法を示す動作モード、速度および時間とをそれぞれ示すパラメータによって構成され、これらの各パラメータがハイフン記号によって結合されたものである。

【0030】ファイル名分解部22は、図3に示すように、ファイル名からシーケンス番号を示すパラメータを分解して取り出す手段としてのシーケンス番号分解部25、同じくデータ名称を示すパラメータを分解して取り出す手段としてのデータ名称分解部26、同じく動作モードを示すパラメータを分解して取り出す手段としての動作分解部27、同じく速度を示すパラメータを分解して取り出す手段としての速度分解部28、および、同じく時間を示すパラメータを分解して取り出す手段としての時間分解部29によって構成される。なお、このファイル名分解部22を構成する各手段は一例であって、静止画像ファイル11および文字ファイル12のファイル名を分解して各パラメータを解読する構成であればどのようなものであっても構わない。

【0031】データ解読部21により送られたファイル名は、シーケンス番号分解部25、データ名称分解部26、動作分解部27、速度分解部28および時間分解部29によって、それぞれシーケンス番号、データ名称、動作モード、速度および時間を示すパラメータに分解され、動画像組立部24へと送られる。ここで、シーケンス番号は、そのファイルのデータの表示順序を示し、動画像組立部24によって動画像を組み立てる際、このシーケンス番号に基づいてファイルの組立順序が決定される。データ名称は、ユーザがそのファイルを識別するために任意に付与する名前である。動作モードは、そのファイルのデータをどのように処理し動作させるかを示し、例えば、ブラインドのような動作で外から中に向かって処理を行う「ブラインドIN」や、カーテンのような動作で左から右へ処理を行う「カーテン右」等を指定することができる。速度および時間は、この動作モードに対して処理を行う速度および時間をそれぞれ示すものである。

【0032】動作解読部23は、ファイル名分解部22によって分解された前述の各パラメータに基づいてそのファイルのデータに対する動作内容を解読し、動作データとして動画像組立部24へ送る。

【0033】動画像組立部24は、データ解読部21により送られた静止画像データまたは文字データに対し、動作解読部23により送られた動作データに基づいてさまざまな効果処理（スクロール、ワイプやロール等）を行う。以下、図4～図6を例にとって動画像組立部24による処理について詳細に説明する。なお、以下に示す

例では、ファイル名は、“シーケンス番号\_データ名称\_動作モード\_拡張子”的フォーマットにて示している。

【0034】図4は静止画像ファイル11の例を示す図であって、それぞれ(a)ファイル名“000\_表紙1\_ブラインドIN.jpg”、(b)ファイル名“001\_表紙2\_カーテン右.jpg”、(c)ファイル名“002\_表紙3\_カーテン下.jpg”である。

【0035】まず、動画像生成部2が記憶装置1から図4(a)の静止画像ファイル11を取得した場合、データ解読部21によって解読される。この静止画像ファイル11の拡張子は“jpg”であるため、静止画像ファイル11であることが解読され、静止画像ファイル11に含まれる静止画像データが動画像組立部24へ送られるとともにファイル名“000\_表紙1\_ブラインドIN.jpg”がファイル名分解部22へと送られる。ファイル名分解部22では、ファイル名“000\_表紙1\_ブラインドIN.jpg”がシーケンス番号分解部25、データ名称分解部26、動作分解部27によってそれぞれシーケンス番号“000”、データ名称“表紙1”、動作モード“ブラインドIN”を示すパラメータに分解される。さらに、動作モード“ブラインドIN”は、動作解読部23によってその動作内容が解読され、動作データとして動画像組立部24へ送られる。

【0036】動画像組立部24では、データ解読部21より送られた静止画像データを動作解読部23より送られた動作データに基づいて動作処理を行う。図4(a)に示す静止画像に対する動作モードは、“ブラインドIN”であるため、ブラインドのような動作で外から中へ向かって描画されるように動画像データの組立が行われる。同様に、図4(b)および図4(c)に対する静止画像データについてもそれぞれの動作モードは、“カーテン右”および“カーテン下”であるため、カーテンのような動作でそれぞれ左から右へ、上から下へ描画されるように動画像データの組立が行われる。このとき、図4(a)～(c)のシーケンス番号の順序で表示されるよう動画像データが生成される。

【0037】こうして動画像生成部2により生成された動画像データは、ビデオメモリ3によって展開されて表示機4に転送され、表示機4はビデオメモリ3の内容を各ドットの色データとして点灯し、動画像として表示する。図4の例では、まず図4(a)の画像がブラインドのような動作で外から中へ向かって描画されたのち、続けて同図(b)の画像がカーテンのような動作で左から右へ描画される。さらに、同図(c)の画像がカーテンのような動作で上から下へ描画されることによって、表示機4上には動画像が表示される。

【0038】図5は静止画像ファイル11の例を示す図であって、それぞれ(a)ファイル名“003\_PH32S2\_アニメ-01.jpg”、(b)ファイル名

“003\_PH32S2\_アニメ-02.jpg”、(c)ファイル名“003\_PH32S2\_アニメ-03.jpg”である。図5(a)～(c)に示す静止画像ファイル11が動画像生成部2によって処理されると、データ解読部21を経てファイル名分解部22によりそれぞれの動作モード“アニメ-01”、“アニメ-02”、“アニメ-03”を示すパラメータに分解され、動作解読部23によってその動作内容が解読される。動作モード“アニメ”はこれに続く“-”の後の数値の順に図5(a)～(c)に示す静止画像データが表示されるようにするものであって、動画像組立部24ではこれに基づき静止画像データの組立が行われ、動画像データが生成される。

【0039】図6は静止画像データに文字データを組み合わせた例を示す図である。

【0040】文字ファイル12に含まれる文字データが「サーチウェイブ機能でスムーズに」であって、そのファイル名は、“004\_サーチウェイブ\_ズーム.txt”である。動画像生成部2は記憶装置1からこの文字ファイル12を取得され、データ解読部21によって解読される。この文字ファイル12の拡張子は“txt”であるため、文字データを含むファイルであることが解読され、文字ファイル12に含まれる文字データが動画像組立部24へ送られるとともにファイル名“004\_サーチウェイブ\_ズーム.txt”がファイル名分解部22へと送られる。ファイル名分解部22では動作モード“ズーム”を示すパラメータに分解され、動作解読部23によってその動作内容が解読される。動作モード“ズーム”は、図6(a)および(b)に示すように既に表示されている画像上に文字ファイル12に含まれる文字データ「サーチウェイブ機能でスムーズに」を徐々に拡大しながら重ねて表示されるようになるものである。動画像組立部24ではこの動作モードに基づき文字データの組立が行われ、動画像データが生成される。

【0041】以上のように、記憶装置1のフォルダにまとめて記憶されている静止画像ファイル11および文字ファイル12を動画像生成部2によって読み込み、シーケンス番号を示すパラメータに基づいて静止画像ファイル11に含まれる静止画像データおよび文字ファイル12に含まれる文字ファイルを順序立てて連続処理する。このとき、それぞれのファイル名として含まれる動作モードを示すパラメータに基づいて静止画像データおよび文字データを処理し、それぞれ静止した状態ではなく動作した状態に表示されるよう動画像データが生成される。

【0042】したがって、作成や編集が容易な静止画像ファイル11や文字ファイル12によって動画像データを生成することが可能となる。また、動画像データの一部分を変更する場合には相当する静止画像データに対する静止画像ファイル11や文字データに対する文字ファ

イル12を変更するだけでも、動画像データの編集作業を簡素化することが可能となる。さらに、静止画像データや文字データに与える動作は、ファイル名に含まれる動作モードを示すパラメータによって決定されるものであるため、動作のみを変更する際には、相当するファイル名のパラメータ部分の簡単な修正だけでよい。

【0043】なお、図4～図6の例では、ファイル名に速度や時間を示すパラメータを含まないものについて説明したが、これらのパラメータを含む場合、動画像データや文字データを動作モードに基づいて動作させる際、どれくらいの速度でどれくらいの時間実行させるのかが決定される。また、これらのパラメータの他にもさまざまなパラメータを設定することが可能であることは言うまでもない。

【0044】なお、上記実施形態における記憶装置1および動画像生成部2は本発明の動画像生成装置を構成し、また本発明の目的は、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記録媒体を、システムあるいは装置に供給し、そのシステムあるいは装置のコンピュータが記録媒体に格納されたプログラムコードを読み出し実行することによっても、達成されることは言うまでもない。この場合、記録媒体から読み出されたプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現することになり、そのプログラムコードを記録した記録媒体は本発明を構成することになる。

【0045】このようなプログラムコードを供給するための記録媒体としては、例えば、フレキシブルディスク（フロッピー（登録商標）ディスク）、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R、磁気テープ、不揮発性のメモリカードやROMなどを用いることができる。また、インターネット・プロバイダ等のサーバ上におかれたこれらの記録媒体にプログラムコードを格納し、インターネットを介してこのプログラムコードを提供する形態であっても本発明を構成する。

【0046】また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているOS（オペレーティングシステム）などが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0047】さらに、記録媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わ

るメモリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も言うまでもない。

#### 【0048】

【発明の効果】本発明によれば、作成や編集が容易な静止画像ファイルや文字ファイルによって動画像データを生成することが可能となり、作業効率が向上する。また、動画像データの一部分を変更する場合には相当する静止画像ファイルや文字ファイルを変更するだけでも、動画像データの編集作業を簡素化することが可能となる。また、動画像データの作成に用いられる静止画像データや文字データはそのデータ量が少ないため、ネットワークを通じて通信によりこれらのデータの交換等を行う際に特に効果的である。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態における画像表示装置の構成を示すブロック図

【図2】図1の動画像生成部の詳細な構成を示すブロック図

【図3】図2のファイル名分解部の詳細な構成を示すブロック図

【図4】静止画像ファイルの例を示す図

【図5】静止画像ファイルの例を示す図

【図6】静止画像データに文字データを組み合わせた例を示す図

【図7】従来の画像表示装置の構成を示すブロック図

#### 【符号の説明】

1 記憶装置

2 動画像生成部

3 ビデオメモリ

4 表示機

1.1 静止画像ファイル

1.2 文字ファイル

2.1 データ解読部

2.2 ファイル名分解部

2.3 動作解読部

2.4 動画像組立部

2.5 シーケンス番号分解部

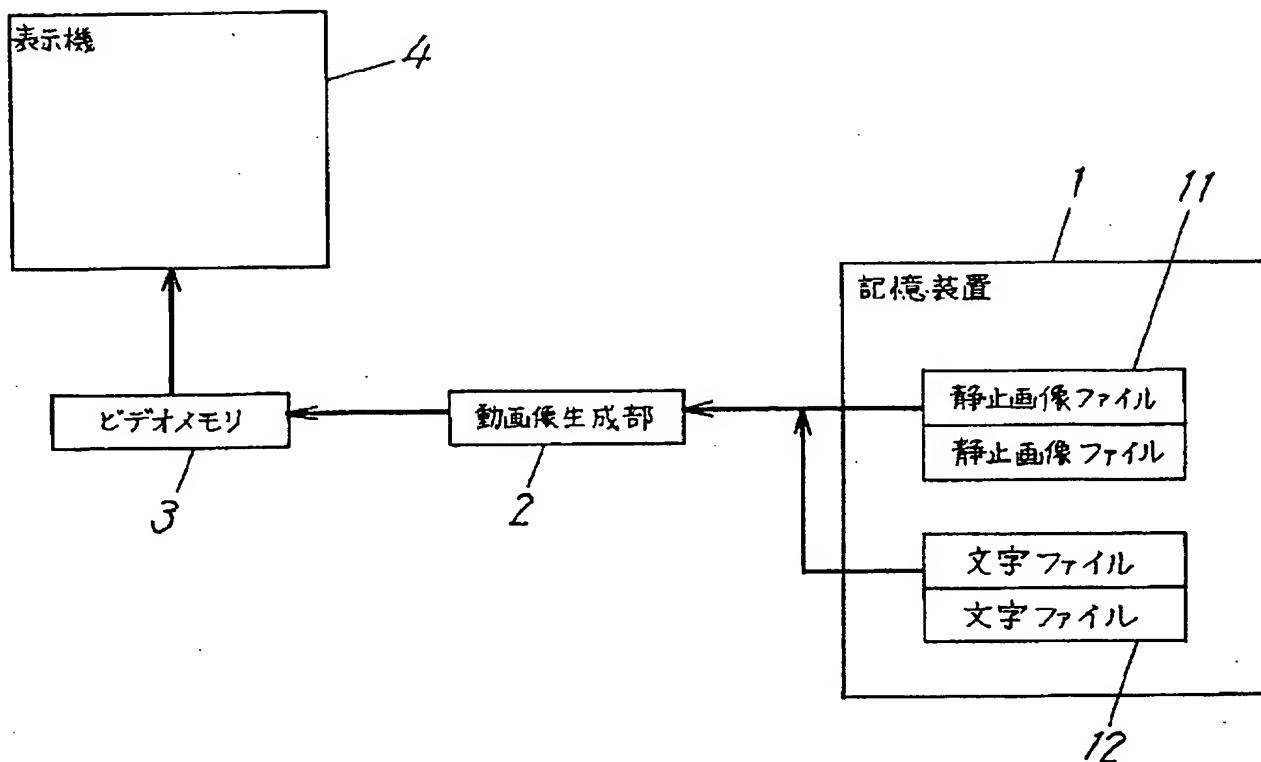
2.6 データ名称分解部

2.7 動作分解部

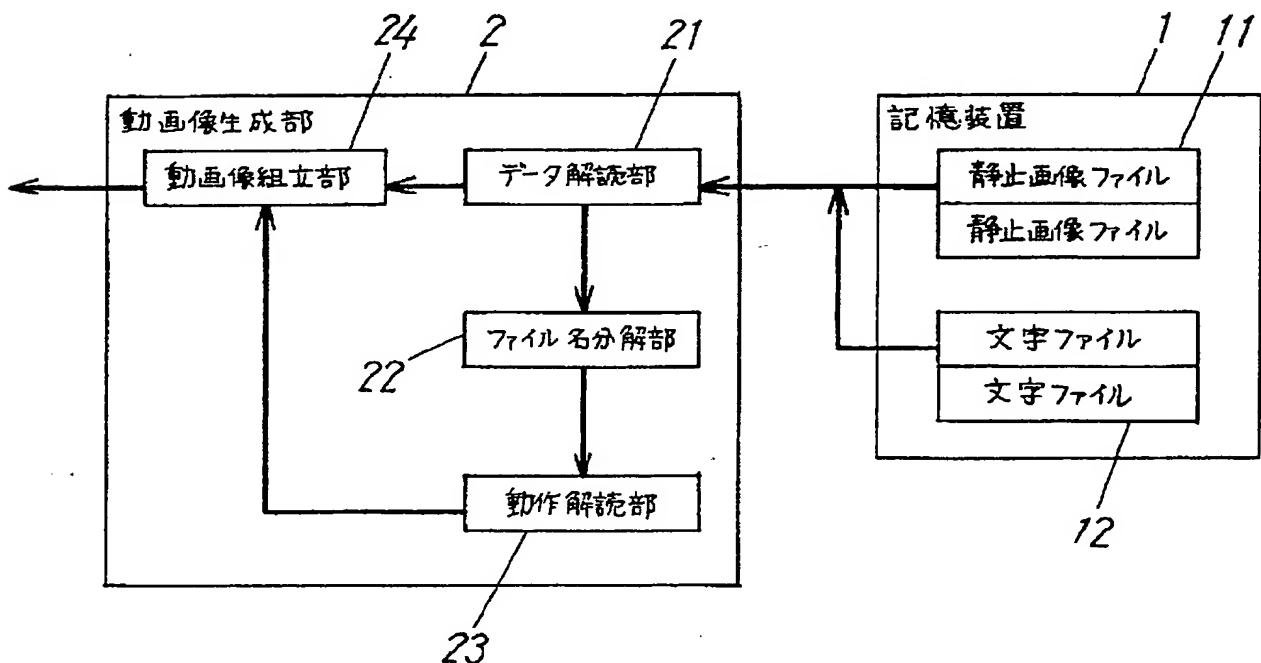
2.8 速度分解部

2.9 時間分解部

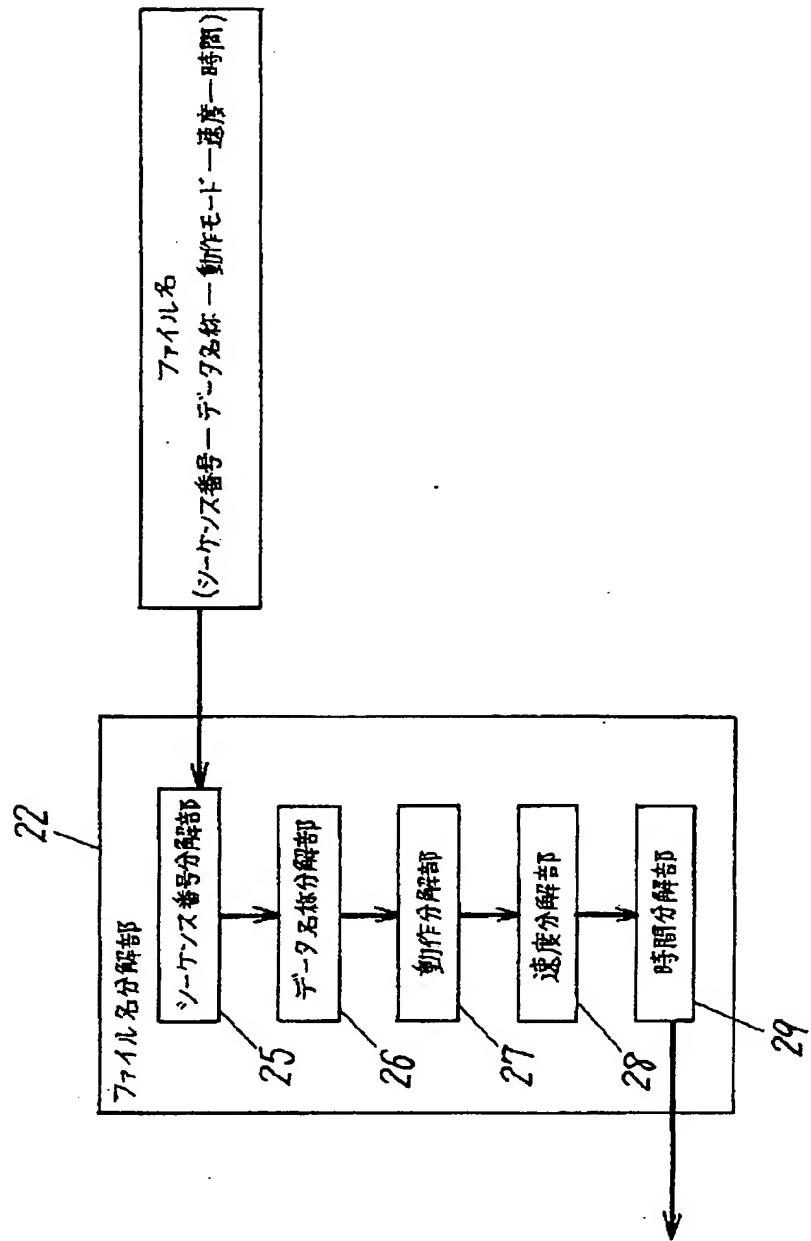
【図1】



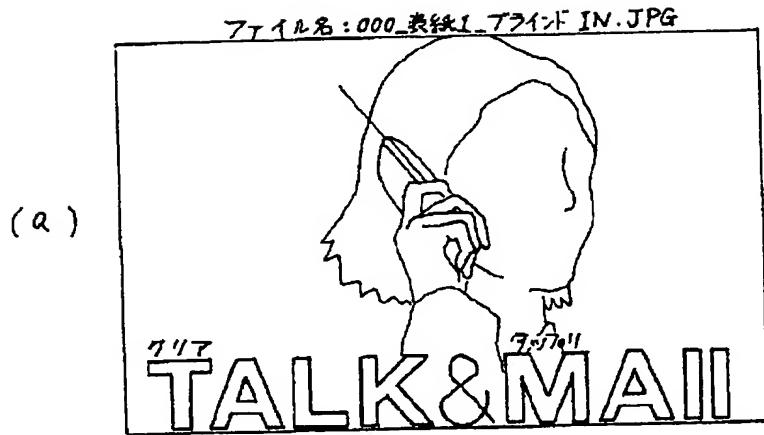
【図2】



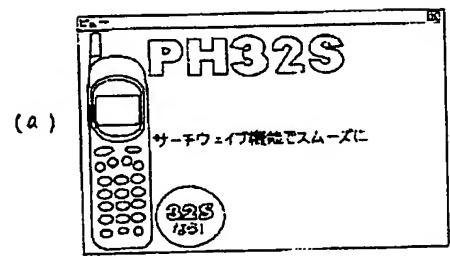
【図3】



【図4】



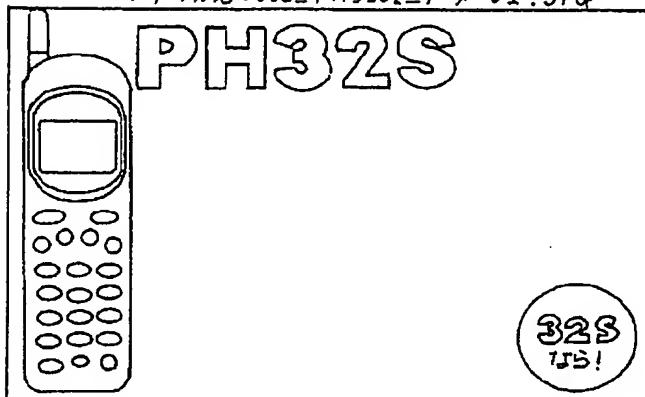
【図6】



【図5】

ファイル名: 003\_PH32S2\_T=x-01.JPG

(a)



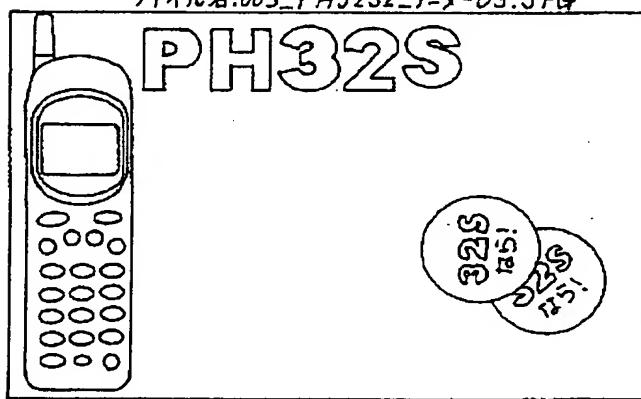
ファイル名: 003\_PH32S2\_T=x-02.JPG

(b)

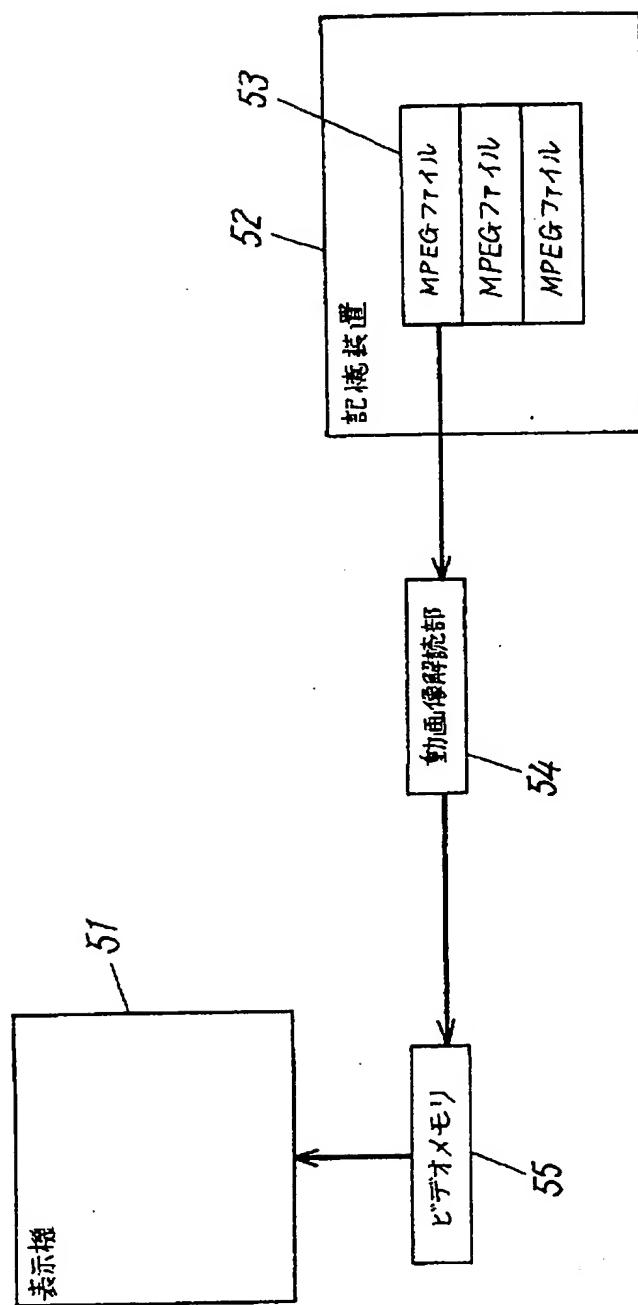


ファイル名: 003\_PH32S2\_T=x-03.JPG

(c)



【図7】



(12) 2002-57977 (P2002-579JL)

フロントページの続き

F ターム(参考) 5B050 BA08 BA20 DA02 EA19 EA24  
FA02  
5C023 AA01 AA11 AA21 AA34 AA38  
BA01 BA11 BA15 BA16 CA01  
CA05 DA04 DA08  
5C053 FA14 FA21 FA23 GB06 GB37  
HA21 HA29 KA04 KA24 LA06